

## 区政への主な意見と回答 令和4年4月分

4月にみなさまから寄せられた区政へのご意見・ご要望は25件でした。

そのうち、主なものを掲載します。

内容から個人が特定されるようなものは除いてあります。

※区からの回答は当時のものであるため、現在とは異なる場合があります。

お問い合わせ 区政相談課 電話 03-3312-2111 (代表)

### 1 大宮前体育館のプールでのスマートウォッチの使用について

令和4年4月13日受付

Q 日頃から区民プールを使用しています。渋谷区や世田谷区の区民プールも使用していますが、これらの区では保護バンドを使用中に限り、スマートウォッチのプール持ち込みや測定が許可されています。

大宮前体育館でスマートウォッチを使つての距離やカロリー、速さを測定していたところ、注意を受けました。しかし、この注意も監視員によってバラバラで、注意されない時もあります。

スマートウォッチを使用することでモチベーションにつながり、日々の運動量を測定することができます。

健康増進を謳っている大宮前体育館プールで保護バンド使用中に限り、スマートウォッチの使用許可をお願いします。

A これまで区では、他の利用者に対する接触事故や無断撮影などの懸念があるため、区営プールにおける時計やカメラ等のほか、ご指摘のスマートウォッチについては使用を禁止しています。

こうした中、スマートウォッチは、自己の運動測定等の目的で、近年利用が普及していると認識しており、他自治体の中には、保護カバーで覆う、使用できるコースを限定する、混雑時の使用を遠慮してもらう等のルールを設けて、スマートウォッチのプール使用を認めている例もあるところです。

これらの取り組みを踏まえ、区としては、来年度を目途に一定のルールの下でスマートウォッチのプール利用を認める方向で、具体的な検討を行うとともに、指定管理者との協議や学校開放プール事業との調整を図っていく考えです。

担当 スポーツ振興課

## 2 中央図書館乳幼児コーナーについて 令和4年4月14日受付

Q 中央図書館の乳幼児コーナーの授乳スペースをよく利用していますが、カーテンを閉めて授乳していても、入室の際に声を掛けられたことがありません。入口に鍵があることで、「鍵が開いている＝誰もいない」と思われることがほとんどです。

先日は、授乳中にカーテンを開けられてしまい、入口の鍵をかけていなかったことが悪いような雰囲気となり、とても不快に感じ、今後の利用に不安を覚えました。

乳児コーナー入口の鍵の利用方法をわかりやすくしていただきたいです。また、授乳中であることがわかるような対応をしていただけると幸いです。

A 乳幼児コーナーには、調乳用の給湯器設備、授乳室、おむつ交換台のほか、乳児トイレの設置など複数の機能を備えているため、ご利用に際してはご利用者相互でのお気遣いをいただきますようご理解ご協力をお願いしているところです。

一方で、今回のような事案の発生は、安全安心な図書館利用をしていただくうえで見直しを図らなければならない事案だと認識しています。

今後は、授乳でのご利用に際しては、入口に鍵をかけてのご利用をしていただくこととし、併せて利用中の入口ドアへの授乳中であることを表示するルールに改めることで対応したいと考えます。

担当 中央図書館

## 3 子どものマスク着用は任意に 令和4年4月15日受付

Q 区長と区教育委員会へお願いがあります。マスク着用を任意にするように働きかけてください。

区立小学校に2人の子どもを通わせています。子どもは昨年来、マスクはずっと苦しいと言っています。友だちの笑った顔も見られないし、表情が読み取りにくいとも言っています。もう、マスク生活も3年目です。新型コロナウイルスまん延防止重点措置の適用もなくなりました。また、そもそも10歳以下の子どもの死亡はゼロで、感染した話を聞くと風邪と同等の軽症ばかりです。それなのにいつまでマスクをさせるのでしょうか。

いっぱい笑って、いっぱい歌って、いっぱい話せる学校生活と、リスクの極めて低いコロナへの過剰な防護と、どちらが大切でしょうか。

また、「黙食」などもやめてください。オフィス街の昼間を見てください。向かい合って話しながらランチを楽しんでいます。なぜ、子どもたちだけ黙って食べることを強いられるのでしょうか。

子どものマスク着用を任意にすることは、親としての切なる願いです。

A 本区においては、「杉並区立学校感染症対策と学校運営に関するガイドライン」を定め、身体的距離が十分に確保できないときはマスク着用を原則として教育活動を行っています。

一方、運動時には身体へのリスクを考慮し、マスクの着用は必要とせず、特に呼気が激しくなる運動を行う際や、高温・多湿の環境下においては、換気や児童生徒の距離を十分に確保した上で、マスクを外す等、臨機応変に対応しています。

今後も、子どもたちの安全・安心、そして学びの保障を第一に考え、対応していきます。

担当 済美教育センター

#### 4 公立小学校での給食におけるアレルギー対応について 令和4年4月15日受付

Q 子どもを小学校に通わせています。給食配膳時のアレルギー対応についての要望です。現在、食物アレルギーがある子どもに対しては、給食の配膳時に事前に対応食を用意していただき、大変感謝しています。

しかしながら、子どもの成長に伴い、まれに配膳時に十分な量が配膳されておらず、おかわりをしたくてもそれが禁止されているために悲しい思いをすることがあると耳にします。例えば、私の子どもは卵とくるみにアレルギーがありますが、全く混入の可能性のないパック牛乳などもおかわりすることができず、アレルギーのない子どもたちと比べて疎外感を感じるようなようです。

また、アレルギーの食材を分類する際にも、一様に「ナッツ類」という分類が適用され、例えば栗やアーモンドなどもこの中に含まれるなど、本来は食べられる食材までも除外されている状況があります。

アレルギーの管理上の措置であることは理解できますが、もう少し柔軟かつ細かな対応をしていただけるようにお願いします。

A 学校給食は、児童・生徒の心身の健全な発達を基本目標にしています。そのため、区では文部科学省が示す「学校給食摂取基準」に基づいた「杉並区標準食品構成」により、献立を作成し、栄養価だけでなく、摂取量にも配慮して提供しています。

ご意見にありました、配膳時に十分な量が配膳されておらず悲しい思いをさせて申し訳ありませんでした。学校における給食指導によるものと考えられるため、改善するよう指導します。

しかし、アレルギー対応食が提供されている日のおかわりについては、配膳間違いの発生やトング等を使いまわすことによる事故を防止する観点から禁止しています。

また、栗やアーモンド等の種実については、喫食当日の体調や摂取量により、予期せぬ症状が出る可能性が否定できず、安全を確保するためには種実類を全て除去せざるを得ません。

食物アレルギーの研究は日々進められていることから、杉並区教育委員会でも区の基準の見直しを進めていきます。

担当 学務課

## 5 おおぞら公園について 令和4年4月15日受付

Q 下高井戸おおぞら公園はとても楽しい公園ですが、来園者の連れてきた犬が公園内でおしっこをしています。その場所に飼い主が水をかけていますが、子どもたちが知らずに寝転がるので、たいへん不衛生です。犬を連れての入園を禁止にするべきです。もしくは、犬専用の場所として「ドックラン」を作ってください。

A 杉並区では、犬を連れての公園利用の要望が多く、管理事務所のある大きな公園においてリード付ける、糞を片付けるなどのマナーを守ったうえで、犬を連れての利用を認めています。

そこで、中央の草むらにおいて犬におしっこをさせないように注意看板を設置するとともに、そうした行為を見かけた時は職員が注意するなどして、犬のマナーの向上に努めていきます。

担当 みどり公園課

## 6 ハローサイクリング設置のお願い 令和4年4月19日受付

Q 善福寺児童館近くにハローサイクリングが設置されたので、初めて利用しました。

善福寺公園付近や西荻窪駅付近に専用の駐輪場がなく、用事が終わる時に善福寺児童館まで返却せざるを得ず、無駄なレンタル時間が発生してしまいます。また、母親が我が家に遊びに来る際も、バスでは寄れない場所に自転車で行きたいという要望がありますが、駅の近くでレンタルができず、結局バスで家まで来てから一緒に借りにいくという手段しかないのがとても不便です。可能であれば駅の近くに設置をお願いしたいです。数台でよいので、検討をお願いします。

A 本実証実験では、区が公有地（区立公園や区立自転車駐車場）の一部をサイクルポート

として民間のシェアサイクル事業者に貸し出すなど、官民連携してシェアサイクル事業に取り組んでいます。

「駅の近くにサイクルポート設置をお願いしたい」というご要望ですが、実証実験期間中は、公有地でのサイクルポートの調整（拡大や縮小等）を適宜行っていく予定です。

区内には公有地に限らずサイクルポートが設置されている場所がいくつかあります。そのような民有地の新たな開拓等については、シェアサイクル事業者が主体的に実施していくことになるため、駅付近、特にサイクルポートの設置箇所が少ない西荻窪駅周辺についても、今後事業者と調整していきたいと考えます。

また、実証実験期間中の区内シェアサイクルの利用実態は、令和 5 年度以降の本格的な事業化に向けての具体的な検討材料の一つとなります。

今後も区民の皆様一人ひとりから頂いたご意見を参考にさせていただき、移動の利便性をさらに向上させるよう取り組んでいきます。

担当 都市整備部管理課

## 7 小学校の給水施設の使用再開希望について 令和 4 年 4 月 20 日受付

Q 子どもが通っている区立小学校では、新型コロナウイルスの影響で給水設備(水飲み場)が使えません。水筒を持参していますが、ただでさえ荷物が多く、低学年で重い水筒を持つていくことは負担になります。持参できる量は、500ml 程度が限度です。

児童は 1 日 2L 以上の水分摂取が必要と言われています。水分摂取不足の影響は、身体のさまざまなところに不調をきたすように思います。

子どもたちが自由に水を飲むことができるよう、小学校の給水設備の使用再開をお願いします。

A 杉並区教育委員会では、「杉並区立学校感染症対策と学校運営に関するガイドライン」を策定し、感染症対策を行いながら学校を運営しています。その中で、飲料水について、「飲料水の水質検査は、遊離残留塩素の測定及び色、濁り、臭い、味などを点検し、飲料水として異常がないことを確認する。また、冷水機についても、同様の点検を行い、適正に管理する。」として、適切な水質検査を行っています。

また、杉並区学校薬剤師会からは、新型コロナウイルス感染症対策として、「冷水機を使用するときは、一人ずつ間隔をあけて並ぶようにする。」「直接、口を近づけて飲まず、自分の水筒やマイカップ、ペットボトルに水を注ぐのが望ましい。」と助言をいただいで対応しているところです。

各学校の感染症対策は、ガイドラインを遵守した上で、それぞれの学校の施設に応じて工

夫して行っています。学校からは、休み時間に冷水機に児童が殺到してしまうことや、口をつけて使用してしまうとの意見もあります。飲料水の対応については、お子様が通われている学校にご確認ください。

今後も、安全・安心な学校生活を送れるよう感染症対策を続けていきます。

担当 学務課